

もっと詳しく知りたい方へ



女性教育情報センターは、国立女性教育会館内にある、男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。

●文献情報データベース(所蔵検索)

http://winet.nwec.jp/bunken/opac_search/



図書の貸出、新聞記事の複写郵送サービスなどを行っています。ぜひご利用ください！

女性教育情報センターHP



女性の政治参画

女性教育センター所蔵展示(4~6月)



<https://www.nwec.jp/event/center/politics19-4.html>

編集・発行:独立行政法人国立女性教育会館情報課
〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地

TEL:0493-62-6195

URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>

発行:2019年4月

本、^{ます}あり□。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-
///vol.16///

女性の政治参画





Q.日本の女性の政治参画状況は他の国と比べて進んでいるの？



A. 世界経済フォーラム (WorldEconomicForum) が2018年12月に公表した、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数 (GenderGapIndex: GGI) を見てみましょう。この指数は、経済、教育、健康、政治の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味しています。各項目の指数、149カ国中の順位はこちらです。

経済分野: 0.595 (117位)

教育分野: 0.994 (65位)

健康分野: 0.979 (41位)

政治分野: 0.081 (125位)

全体: 0.662 (110位)

出典: 内閣府『共同参画2019.1』

これを見ると、経済分野や、特に政治分野が遅れていることが分かります。



Q.女性の議員はまだ少ない印象だけど、男女の割合はどれくらいなのかな？

憲法から考える政治 関連図書



『女子会「憲法」サークル』 近藤三津枝著 PHP研究所 2013

「結婚・妊娠・出産をしても働き続けることができるの?」「仕事内容、給与、昇進などに男女で差があっているの?」などの女性のライフステージの問題や、「海外で危険な目に遭ったら?」「ゴミの分別などを心がけているけれども環境権ってなに?」といった身近な問題まで、さまざまな問題と憲法との関わりを分かりやすく書いています。書名は"女子会"ですが、憲法を生活の中で考えることができる、だれにとっても分かりやすい1冊です。

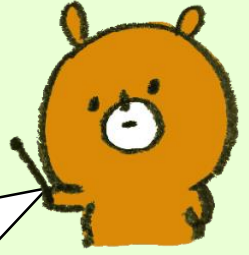
『目で見える憲法第5版』 初宿正典[ほか]編著 有斐閣 2018

写真やグラフなど、"目で見える"資料がたくさん掲載されていて、日本国憲法の各条文のイメージを視覚的に捉えることができます。また、条文ごとの判例もたくさん紹介しているので、憲法がどのような場面で争点になるのか具体的に分かります。

巻頭カラーページには日本国憲法成立時の貴重な資料や、新憲法普及に使われたポスターなど当時の雰囲気が分かる資料がカラーで掲載されています。



Q.女性アーカイブセンターで展示されるベアテ・シロタ・ゴードンさんって？



- A. 戦後、GHQの一員として日本国憲法草案作成に携わった女性で、男女平等や女性に関する権利について執筆しました。ベアテさんの執筆した草案は、日本国憲法の第14条「法の下での平等」、第24条「両性の本質的平等」に残っています。日本国憲法成立を見届けて1947年にアメリカへ帰国しました。

1990年代からは日本を訪れ、日本各地で公演活動を行い、日本の女性たちをエンパワメントしました。



女性アーカイブセンターでは、
2019年4月26日(金) ~9月30日(月)に
「ベアテ・シロタ・ゴードン展

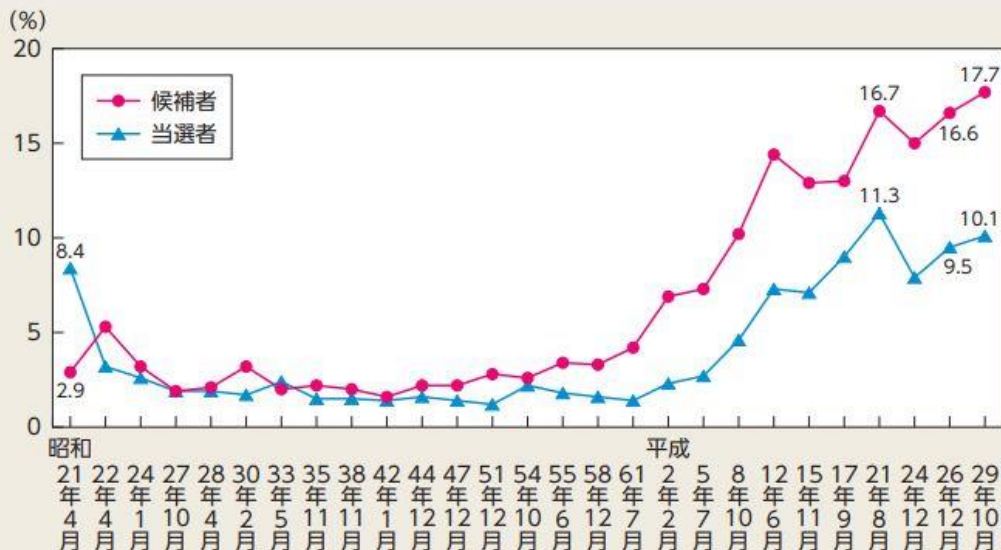
日本国憲法に男女平等の思いを込めて」を
開催します。

5月3日(金)は憲法記念日。身近な憲法から政治を
考える資料を紹介します。

A. 国会議員に占める女性の割合は、衆議院10.1%、参議院20.7%です（平成30年2月現在）。
推移をグラフで見てください。
（内閣府『平成30年度男女共同参画白書』より引用）

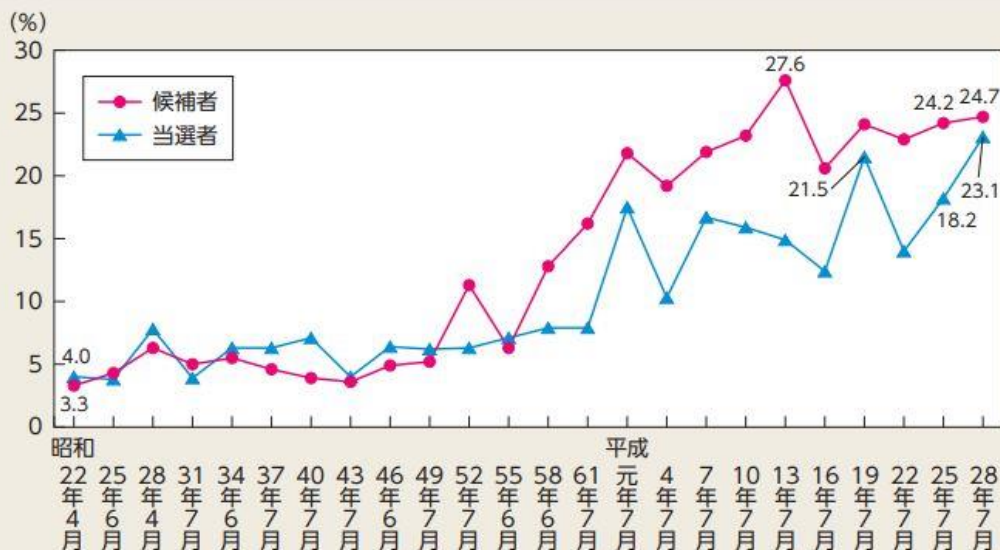


I-1-1 図 衆議院議員総選挙における候補者、当選者に占める女性の割合の推移



（備考）総務省「衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調」より作成。

I-1-2 図 参議院議員通常選挙における候補者、当選者に占める女性の割合の推移



（備考）総務省「参議院議員通常選挙結果調」より作成。

2018年、選挙で男女の候補者数をできる限り均等にしようとするよう政党に求める法律（候補者男女均等法）が施行されましたが、いまだに女性議員がゼロの地方議会も約2割ほどあります。

74



女性の政治参画・関連図書！



女性の政治参画（日本）

『日本の女性議員:どうすれば増えるのか』

三浦まり編著 朝日新聞出版 2016

さまざまな分野の専門家が、日本の女性議員が少ない原因、増えたら政治にどのような影響を与えられるかを書いた本です。

また、1990年代から女性議員がどのように道を切り拓いてきたか、国会議員経験者へのインタビューも交えてその歴史をたどります。

『議会はあなたを待っている:

市川房枝政治参画フォーラムでの学びと実践から』

市川房枝記念会女性と政治センター出版部編集

市川房枝記念会女性と政治センター出版部 2014

46人の女性による議員・議会挑戦の体験レポート。立候補のきっかけや選挙活動、選挙費用、議員としての活動、心がけなどがまとめられています。

特に、議員を志したきっかけは多様で、選挙にチャレンジする方の背中を押してくれる一冊です。

『首長たちの挑戦:女が政治を変える』

女政のえん編 世織書房 2016

県知事を経験した堂本暁子氏、潮谷義子氏、国立市長であった上原公子氏のリレートーク(講演)がまとめられています。それぞれの経歴や政策実現のための苦労など、実体験から語られるお話は臨場感たっぷりです。

また、衆議院における女性議員の推移と女性首長の歴史の資料も収録されており、充実の内容です。

『世界の女性問題③政治、仕事、ジェンダー』

関橋眞理著;井上輝子監修 汐文社 2014

世界各国の女性問題・男女格差について、写真や図表によって分かりやすくまとめられています。

労働、賃金、選挙など様々なテーマの実例とその背景が解説されています。

世界中で見られるジェンダー問題について知ることで、世界共通の課題や、日本の現状を考えるきっかけとなる1冊です。

女性の政治参画の歴史

『マーガレット・サッチャー:「鉄の女」と言われた信念の政治家

:政治家・イギリス首相「イギリス」』

筑摩書房編集部著 筑摩書房 2014

1979年、ヨーロッパ初の女性首相となったサッチャー。少女時代から、政治への目覚め、政治の場で活躍するまでが綴られた評伝です。

男性中心の政治界で、女性が政治家になることが必ずしも一筋縄ではいかない中、持ち続けた強い意志を感じることができます。

『市川房枝:女性解放運動から社会変革へ:

政治家・市民運動家「日本」』

筑摩書房編集部著 筑摩書房 2015

「平和なくして平等なく 平等なくして平和なし」をモットーとしていた市川房枝は、戦前から女性参政権を求めて活動していました。戦後は参議院議員として、売春防止法などの制定に尽力しました。全国区一位で参議院議員に当選したこともあり、多くの人に支持された市川房枝。さまざまな苦難の中でも決してく屈せず進んでいく人生は、現代を生きる私たちにも勇気を与えます。